

**kuraray**

Possible starts here

# 2022年度第2四半期 決算説明(総括)

2022年8月10日

株式会社クラレ

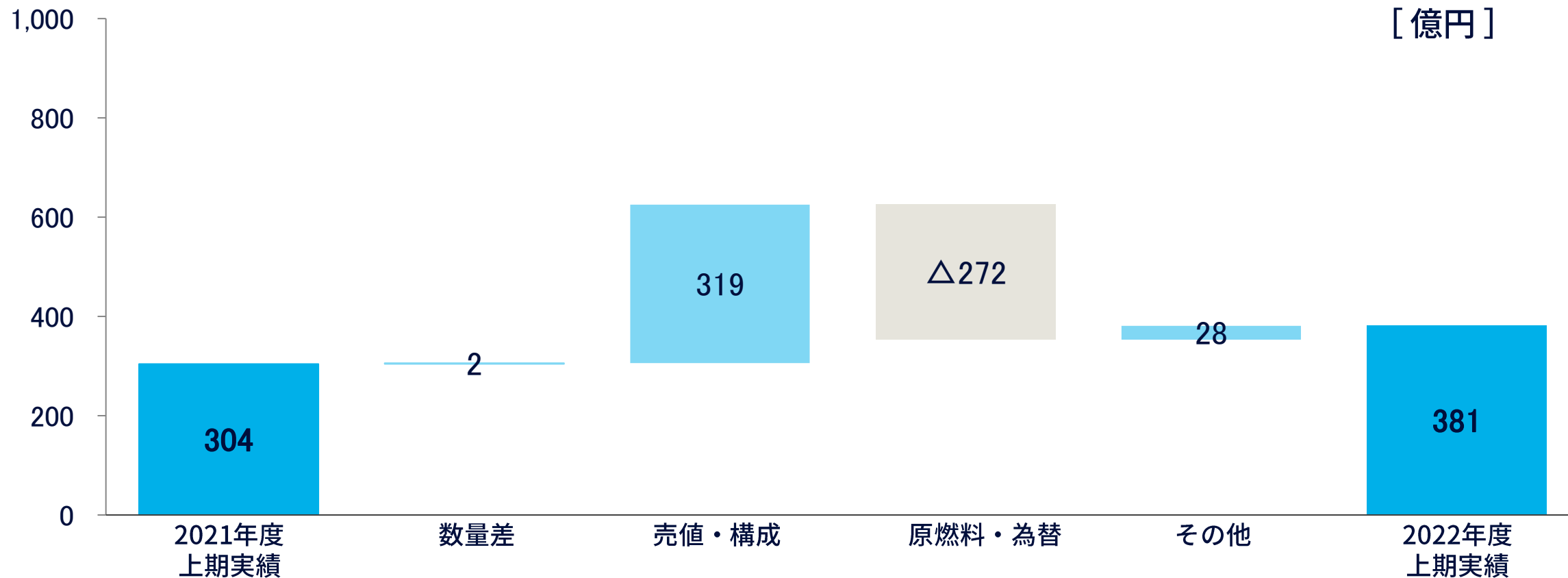
[ 億円 ]

	2022年度上期	2021年度上期	増減
売上高	3,580	3,023	557
営業利益	381	304	77
経常利益	379	285	94
親会社株主に帰属する 四半期純利益	242	117	125

## 参考

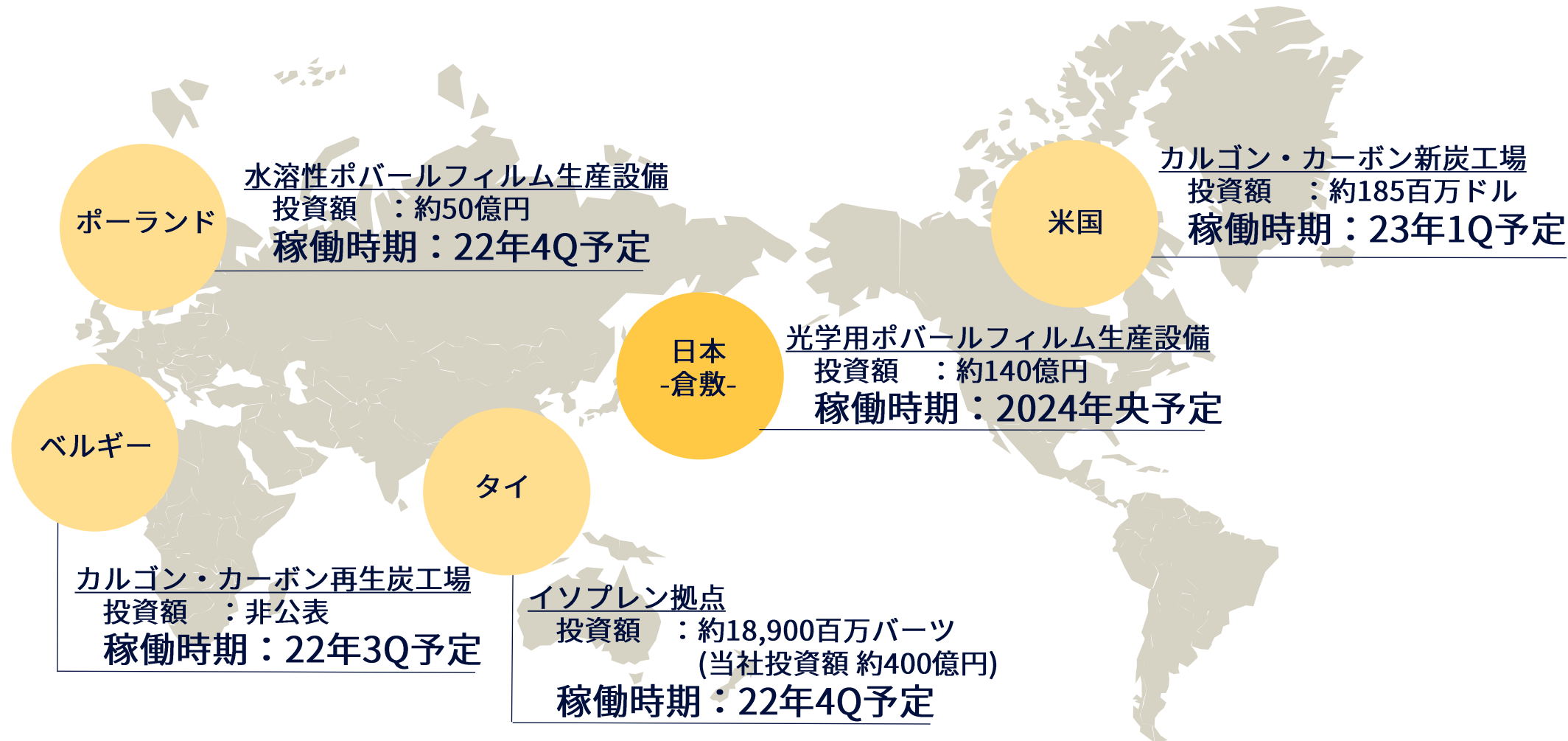
円／ドル (平均)	123	108
円／ユーロ (平均)	134	130
国産ナフサ 千円／kl	72	41

# 2022年度 上期営業利益増減分析



	2021年度上期実績	2022年度上期実績
円／ドル (平均)	108	123
円／ユーロ (平均)	130	134
国産ナフサ 千円／kl	41	72

- 生産・供給体制強化に向け、主要プロジェクトを着実に進行
- 新たに光学用ポバールフィルム生産設備増設を決定



財務  
KPI



	2021年度 実績	2022年度上期 実績	2026年度 目標
ROIC	6.1%	6.5%	8%
EBITDA※	1,313億円	693億円	1,700億円
ROE	7.0%	8.1%	10%
EBITDAマージン (参考)	20.9%	19.4%	23%

※営業利益 + 減価償却費

# 2022年度 通期業績予想（前回予想との比較）

[ 億円 ]

	2022年度 今回修正予想 (2022年8月10日)	2022年度 前回予想 (2022年5月12日)	増減	2021年度 実績	増減
売上高	7,400	6,800	600	6,294	1,106
営業利益	780	780	0	723	57
経常利益	750	750	0	688	62
親会社株主に 帰属する当期純利益	450	450	0	373	77

## < 参考 >

円／ドル（平均）	127	110
円／ユーロ（平均）	135	130
国産ナフサ 千円／kl	78	48

株主還元  
方針

## 配当金

1株当たり40円以上／年

中間	21円
期末(予定)	21円
年間(予定)	42円

## 自社株買い

弾力的に実施

**100億円**  
(2022年2月10日～  
2022年6月23日まで実施)

## 総還元性向

35%以上

**53.5%(予定)**

**kuraray**

Possible starts here

# 2022年度第2四半期決算説明

2022年8月10日

株式会社クラレ



# セグメント別売上高・営業利益

[ 億円 ]

	2022年度上期実績		2021年度上期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	1,854	336	1,484	252	370	84
イソプレ <sup>o</sup> ン	319	25	305	33	14	△8
機能材料	778	33	661	29	117	4
繊維	318	38	299	22	19	16
トレーディング <sup>g</sup>	297	28	691	23	△394	5
その他	237	12	204	3	33	9
調整額	△223	△91	△621	△58	398	△33
<b>合計</b>	<b>3,580</b>	<b>381</b>	<b>3,023</b>	<b>304</b>	<b>557</b>	<b>77</b>

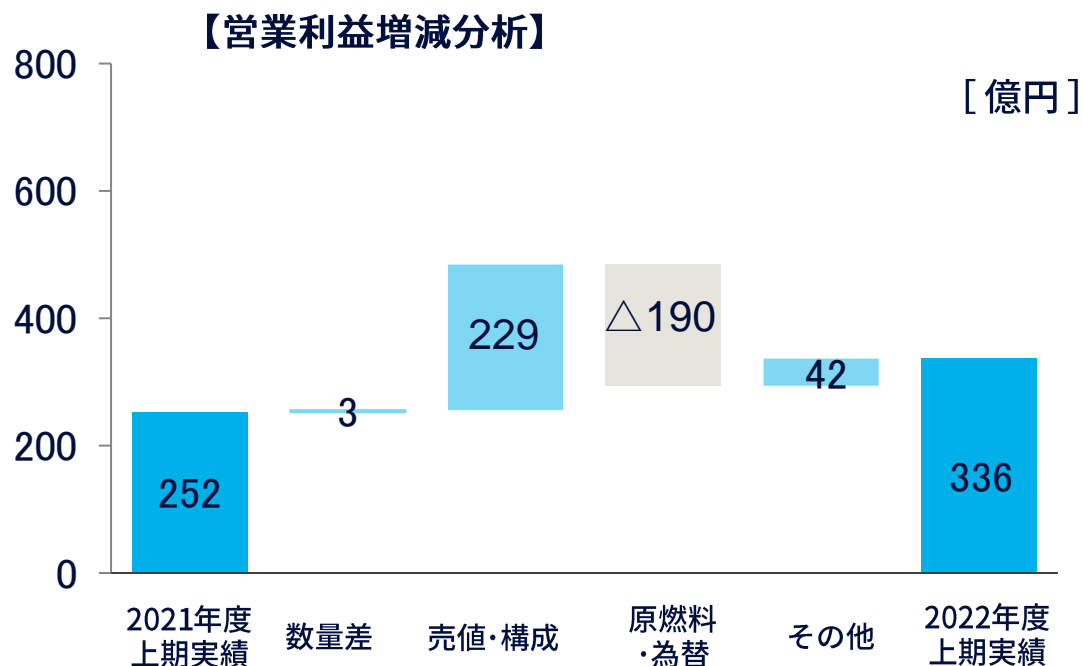
※ 2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。(2022年度のみ適用)
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。(2021年度、2022年度とも変更)
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。(2021年度、2022年度とも変更)

トレーディングセグメント及び調整額の2022年度上期売上高が2021年度上期に比べ大きく変動していますが、これは主に、トレーディングセグメントにおける代理人取引の売上高の計上額について、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、取引総額から純額へと変更することによるものです。

[ 億円 ]

	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	増減
売上高	1,484	1,854	370
営業利益	252	336	84



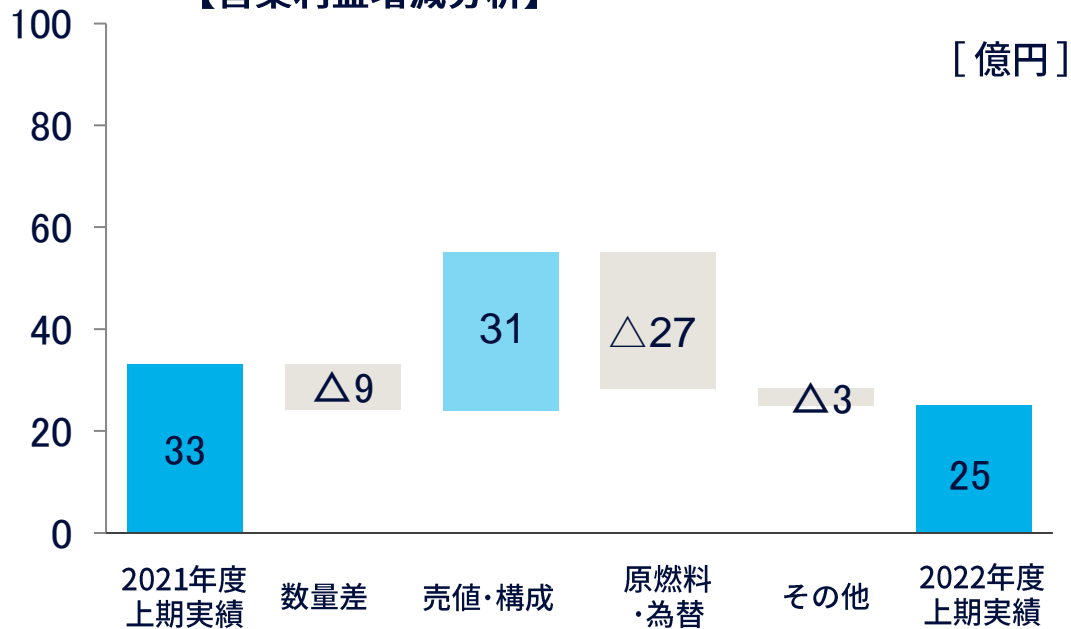
ポバール樹脂	米国子会社の一部生産設備の不具合による停止や物流混乱の影響を受け販売量が減少。
光学用ポバールフィルム	液晶パネルの在庫調整による影響が懸念されたものの、前年同期並みの出荷。テレビパネルサイズ大型化のニーズに対応するため、倉敷事業所での設備投資（2024年央稼働予定）を決定。
水溶性ポバールフィルム	洗濯用及び食洗器用個包装洗剤向けの販売が拡大。
高機能中間膜	PVBフィルムで自動車生産減や中国ロックダウンによる物流逼迫の影響を受け、前年同期比で販売量が減少。
<エバール>	好調な食品用途が自動車用途の減少を補い、全体として販売量は増加。
主な増減要因	原燃料の高騰、物流費の上昇を価格交渉の進展による増益でカバー。物流費は増加したものの、在庫受払差などによりその他は増益。

[ 億円 ]

	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	増減
売上高	305	319	14
営業利益	33	25	△8

イソプレンケミカル、 エラストマー	需要は堅調だったものの、一時的な原料調達難の影響を受け販売量が減少。
<ジェネスタ>	自動車向けで半導体などの部材不足や中国ロックダウンの影響を受け販売量が減少。電気・電子デバイス向けは、需要は堅調だったものの、一部生産設備不具合による生産減や物流混乱の影響を受け販売量が減少。

【営業利益増減分析】



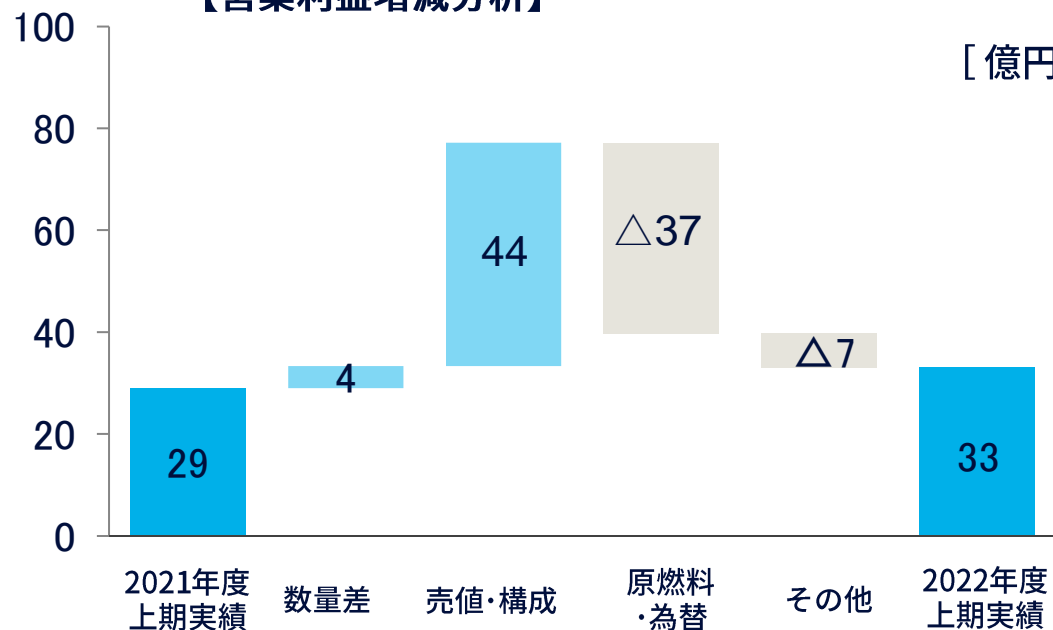
主な増減要因	原燃料の高騰、物流費の上昇を価格交渉の進展による増益でカバーするも、一時的な原料調達難や物流混乱の影響で販売量が減少。
--------	---

[ 億円 ]

	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	増減
売上高	661	778	117
営業利益	29	33	4

【営業利益増減分析】

[ 億円 ]



メタクリル	一時的な原料調達難や中国ロックダウンの影響を受け販売量が減少。
メディカル	欧米を中心に歯科材料の需要が旺盛で、販売が拡大。
環境ソリューション	欧州を中心に需要が増え、活性炭の販売が拡大。
アクア	中空糸水処理膜の需要が堅調に推移。

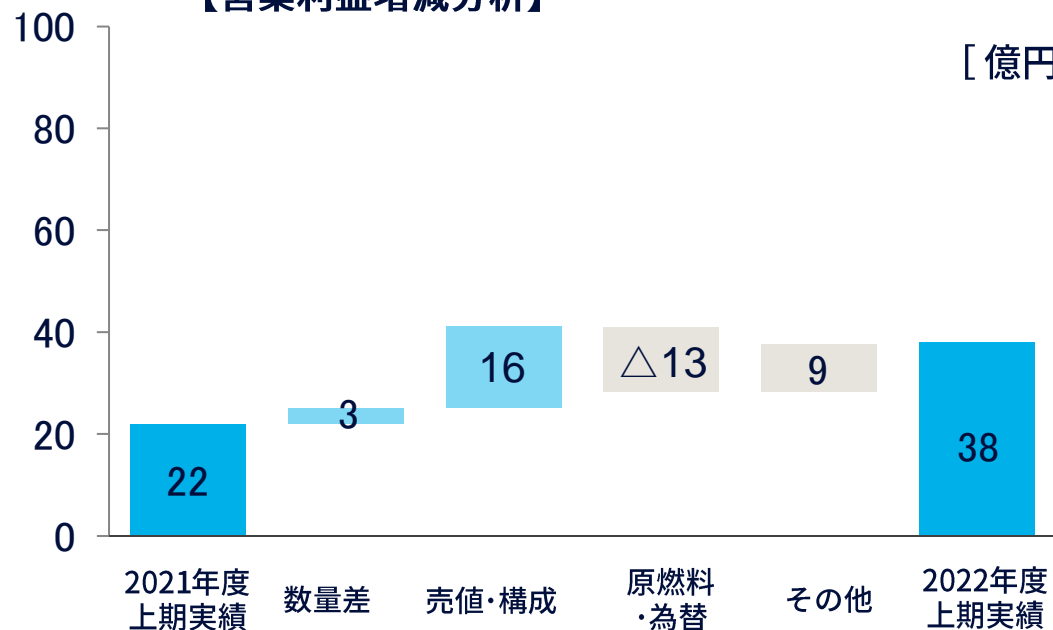
主な増減要因	昨年度の原燃料上昇分も含めて価格交渉を進展させ、原燃料の高騰、物流費の上昇をカバー。
--------	--

[億円]

	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	増減
売上高	299	318	19
営業利益	22	38	16

【営業利益増減分析】

[億円]



<クラリーノ>	ラグジュアリー用途を中心に販売が堅調に推移。
繊維資材	ビニロンは自動車生産減の影響を受けたが、<ベクトラン>は輸出を中心に販売が堅調に推移。
生活資材	<クラフレックス>で外食産業の需要が低調。

主な増減要因	原燃料の高騰、物流費の上昇を価格交渉の進展や為替差益などによりカバー。
--------	-------------------------------------

[億円]

	2022年度上期	2021年度上期	増減
営業CF	214	211	2
投資CF*	△308	△378	70
フリ-CF*	△94	△167	73
設備投資 (受入ベース)	339	348	△10
減価償却費 (のれん償却費込み)	312	288	24
研究開発費	109	103	6

\*投資CF、フリ-CF：運用資金、M&amp;A関連を除く

[ 億円 ]

	2022年6月末	2021年12月末	増減
流動資産	5,011	4,702	310
固定資産	6,844	6,208	635
資産合計	11,855	10,910	945

	2022年6月末	2021年12月末
円／ドル (期末)	137	115
円／ユーロ (期末)	143	131

# 貸借対照表②(負債と純資産の部)

[ 億円 ]

	2022年6月末	2021年12月末	増減
流動負債	2,360	2,195	165
固定負債	2,919	2,919	△1
負債合計	5,279	5,114	164
純資産合計	6,577	5,796	781
負債・純資産合計	11,855	10,910	945
自己資本比率	53.7%	51.3%	2.3%
	2022年6月末	2021年12月末	
円／ドル (期末)	137	115	
円／ユーロ (期末)	143	131	



[ 億円 ]

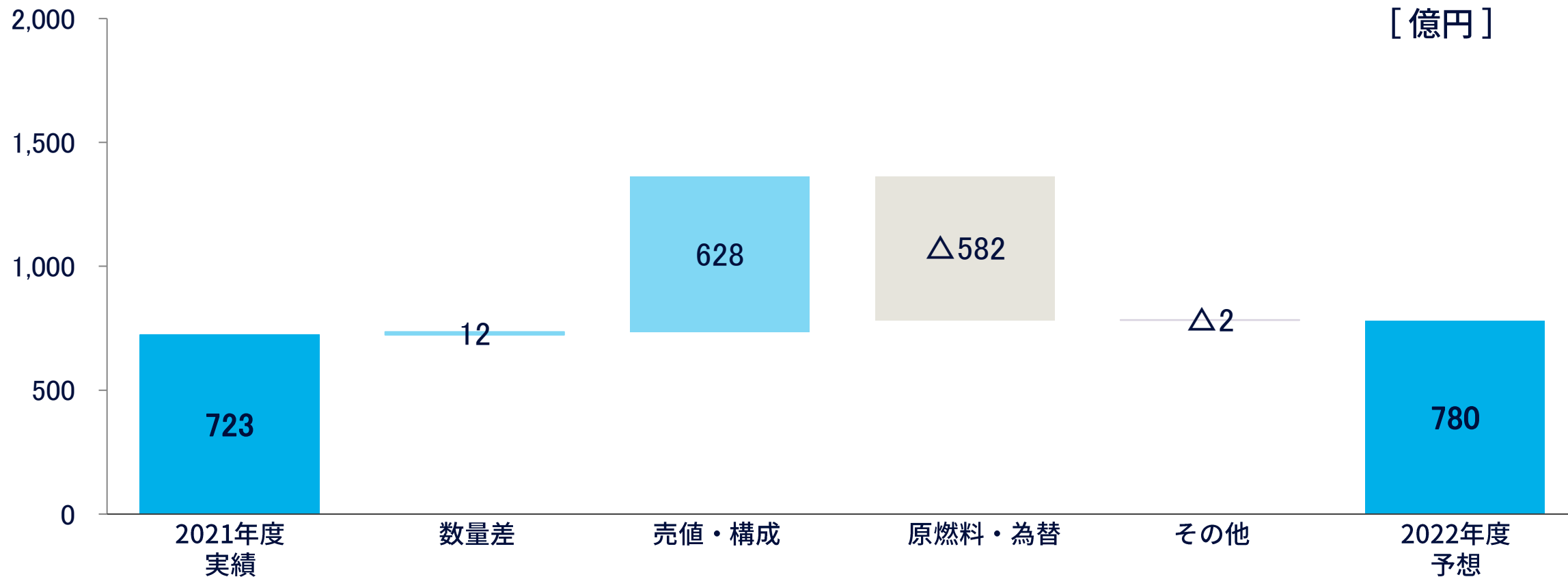
	2022年度 今回修正予想 (2022年8月10日)	2021年度 実績	増減
売上高	7,400	6,294	1,106
営業利益	780	723	57
経常利益	750	688	62
親会社株主に 帰属する当期純利益	450	373	77
1株当たり当期純利益	134円45銭	108円32銭	26円13銭
1株当たり配当	42円	40円	2円
設備投資(決定ベース)	800	419	381
設備投資(受入ベース)	840	659	180
減価償却費(のれん償却費込)	630	590	40
研究開発費	230	208	22

# セグメント別売上高・営業利益比較

[ 億円 ]

	2022年度 今回修正予想 (2022年8月10日)		2021年度 実績		増減		2022年度 前回修正予想 (2022年5月12日)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	3,750	680	3,047	583	703	97	3,420	655	330	25
イソプレソ	710	60	619	61	91	△1	650	65	60	△5
機能材料	1,660	75	1,424	87	236	△12	1,500	85	160	△10
繊維	670	55	611	56	59	△1	620	40	50	15
トレーディング	600	53	1,440	48	△840	5	590	51	10	2
その他	480	20	443	12	37	8	440	15	40	5
調整額	△470	△163	△1,291	△124	821	△39	△420	△131	△50	△32
合計	7,400	780	6,294	723	1,106	57	6,800	780	600	0

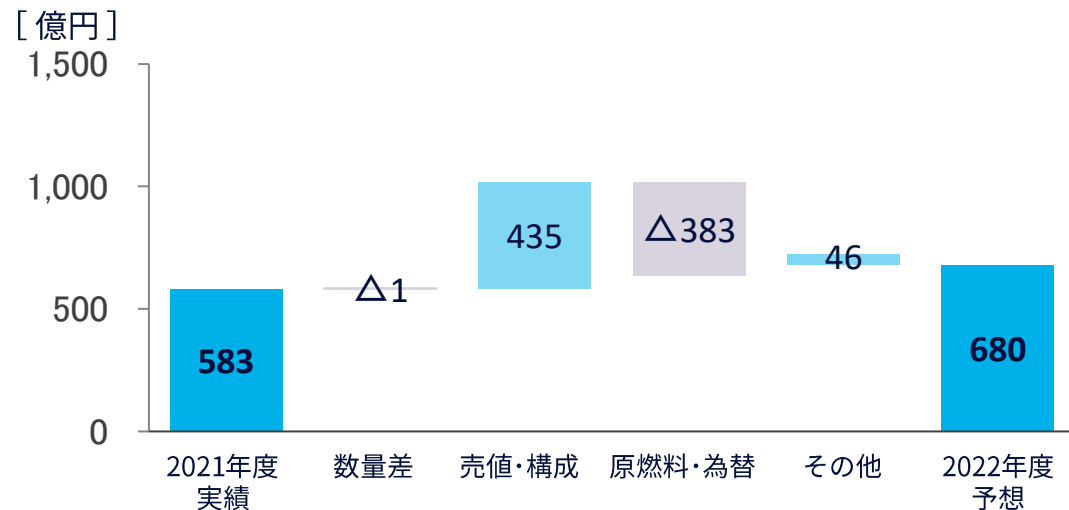
# 2022年度 通期営業利益増減分析



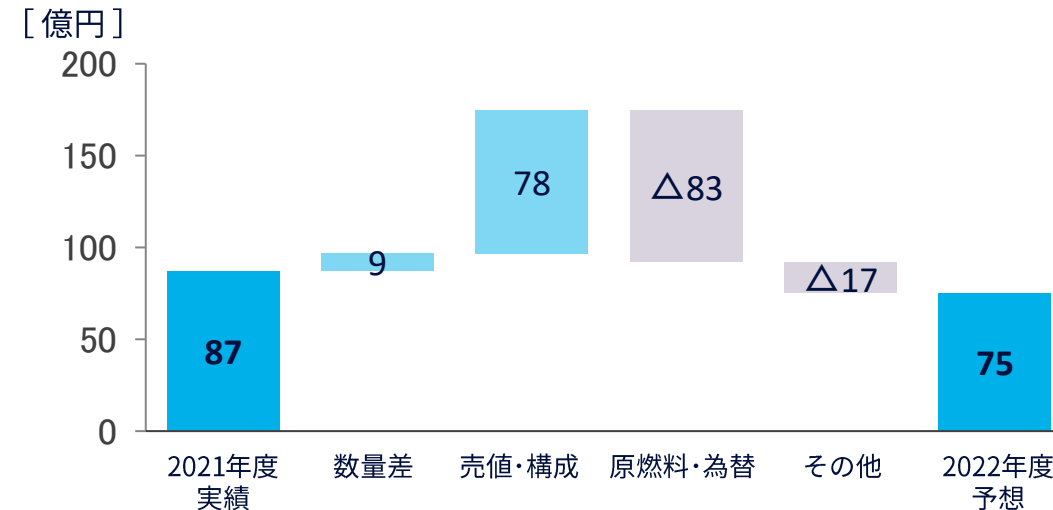
	2021年度実績	2022年度前提
円／ドル (平均)	110	127
円／ユーロ (平均)	130	135
国産ナフサ 千円／kl	48	78

# 【参考】セグメント別 営業利益増減分析

## ビニルアセテートセグメント



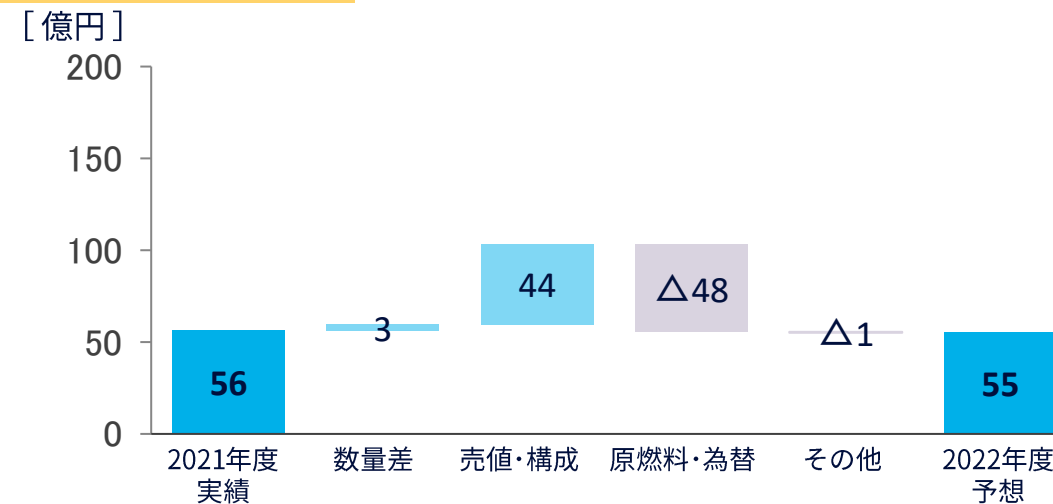
## 機能材料セグメント



## イソプレンセグメント



## 繊維セグメント



# 【参考】2022年度 通期業績予想（前年実績との比較、半期）

[ 億円 ]

	2022年度 今回修正予想 (2022年8月10日)			2021年度 実績			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,580	3,820	7,400	3,023	3,271	6,294	557	549	1,106
営業利益	381	399	780	304	419	723	77	△19	57
経常利益	379	371	750	285	403	688	94	△32	62
親会社株主に 帰属する当期純利益	242	208	450	117	256	373	125	△48	77

# 【参考】セグメント別売上高予想（前年実績との比較、半期）

kuraray

[億円]

	2022年度今回修正予想 (2022年8月10日)			2021年度実績			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	1,854	1,896	3,750	1,484	1,563	3,047	370	333	703
イソプレン	319	391	710	305	315	619	14	76	91
機能材料	778	882	1,660	661	762	1,424	117	120	236
繊維	318	352	670	299	312	611	19	40	59
トレーディング	297	303	600	691	749	1,440	△394	△446	△840
その他	237	243	480	204	240	443	33	4	37
調整額	△223	△247	△470	△621	△670	△1,291	398	422	821
<b>合計</b>	<b>3,580</b>	<b>3,820</b>	<b>7,400</b>	<b>3,023</b>	<b>3,271</b>	<b>6,294</b>	<b>557</b>	<b>549</b>	<b>1,106</b>

2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。（2022年度のみ適用）
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。（2021年度、2022年度とも変更）
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。（2021年度、2022年度とも変更）

トレーディングセグメント及び調整額の2022年度売上高が2021年度に比べ大きく変動していますが、これは主に、トレーディングセグメントにおける代理人取引の売上高の計上額について、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、取引総額から純額へと変更することによるものです。

# 【参考】セグメント別 営業利益予想（前年実績との比較、半期）

kuraray

[ 億円 ]

	2022年度今回修正予想 (2022年8月10日)			2021年度実績			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	336	344	680	252	331	583	84	13	97
イソプレン	25	35	60	33	28	61	△8	7	△1
機能材料	33	42	75	29	57	87	4	△16	△12
繊維	38	17	55	22	34	56	16	△17	△1
トレーディング	28	25	53	23	25	48	5	0	5
その他	12	8	20	3	9	12	9	△1	8
調整額	△91	△72	△163	△58	△66	△124	△33	△6	△39
合計	381	399	780	304	419	723	77	△19	57

2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。(2022年度のみ適用)
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。(2021年度、2022年度とも変更)
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。(2021年度、2022年度とも変更)

# 【参考】セグメント別 四半期売上高推移

[ 億円 ]

	2021年度					2022年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
ビニルアセテート	722	763	764	798	3,047	862	993
イソプレン	149	156	150	165	619	154	165
機能材料	309	352	358	405	1,424	380	398
繊維	137	162	149	163	611	144	174
トレーディング	330	362	362	387	1,440	140	158
その他	96	107	113	127	443	107	130
調整額	△299	△322	△327	△343	△1,291	△110	△112
合計	1,444	1,579	1,569	1,702	6,294	1,676	1,905

2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。(2022年度のみ適用)
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。(2021年度、2022年度とも変更)
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。(2021年度、2022年度とも変更)

トレーディングセグメント及び調整額の2022年度売上高が2021年度に比べ大きく変動していますが、これは主に、トレーディングセグメントにおける代理人取引の売上高の計上額について、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、取引総額から純額へと変更することによるものです。



# 【参考】セグメント別 四半期営業利益推移

[ 億円 ]

	2021年度					2022年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
ビニルアセテート	135	117	186	145	583	172	164
イソプレン	30	3	18	10	61	27	△2
機能材料	10	20	25	33	87	22	11
繊維	6	17	24	10	56	16	22
トレーディング	11	12	12	13	48	13	15
その他	△0	3	7	2	12	4	8
調整額	△23	△36	△32	△33	△124	△33	△58
合計	168	136	239	179	723	221	159

2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。(2022年度のみ適用)
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。(2021年度、2022年度とも変更)
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。(2021年度、2022年度とも変更)

# kuraray

Possible starts here

- 
- 金額表示は億円未満四捨五入にしております。
  - 本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。
  - 本資料中の〈 〉表記は、クラレグループ製品の登録商標です。